

マーケットの国境破る

IT（情報技術）ベンチャーのLISUTO（リスト、東京・港）が7月に正式スタートした越境電子商取引（EC）支援サービス「LISUTO!」が順調に顧客を増やしている。インターネットのショッピングモールに日本語で出している商品データを自動的に英語や中国語にし、海外のモールに出品するサービスで、すでに約50社が10万アイテムを超える商品を出品済みだ。

LISUTO!

越境EC支援サービス



LISUTO
ニール・プラテックさん

代表のニール・プラテックさん（50）は日本生まれのイスラエル人。イーレディンターネットはグローバルなというブランド

品のネット販売会社を経営するが、海外からの引き合いが強いことに着目。越境EC支援サービスとしてリストを分離独立させた。イーレディンターネットはグローバルなのにマーケットには、国境「がある」と越境ECに商機を見いだした。同社が使うのは翻訳システムではなく、人工知能（AI）を使った構造化システム。商品を属性から瞬時に分類し、カテゴリ分けして様々な言語に置き換え、マーケットに出品する。売上高の2%が同社の取り分になる。

現在日本語、英語、ドイツ語、韓国語、中国語、ポルトガル語に対応するが、順次十数カ国語まで増やす。「これで世界のマーケットの9割をカバーできる」という。（鈴木慎一）